

救急外来診療体制の今

夜間でも休日でも救急当番で安心のはず…
市民カレンダーを見ると救急外来診療のない日があります。
なぜ、このような状況になっているのでしょうか？

救急外来診療のない日が発生!

「救急医療」とは、緊急の処置や治療が必要なけがや病気などに対して行われる医療です。

市は、市民の皆さんが安心して生活を送ることができるよう、千歳医師会の協力により医療機関が通常診療を行っていない夜間や休日の救急医療体制をつくっています。

しかし、長年続いてきた救急外来診療は、平成20年度に当番医師の編成ができず、**救急外来診療の空白日**が発生し、現在も月に数回この状況が生じています。

なぜこのような状況が?

救急外来診療の空白日の発生は、従事できる医師の不足が原因です。不足した理由は、

- 当番にあたる医師の高齢化のほか、国が行った研修医制度の変更（注1）にともなう地方への派遣医の不足が千歳にも波及したこと

などがあげられます。

救急外来診療の利用者数は減少する傾向にあり、従事する医師の勤務環境の改善につながっていますが、依然として医師不足の厳しい状況は変わりません。

注1 研修医制度の変更

平成16年に、研修医が医師免許取得後に行う2年間の研修について研修先を自由に選べるようになりました。便利な都会の病院などを選択する研修医が増えたため、人手が足りなくなった大学病院は、地方への派遣医を引き上げました。これが医師不足の一因ともいわれています。

外来診療時間の短縮と電話健康相談窓口の開設

平成20年度に生じた救急外来診療の空白日の発生によ

注2 症状が重いとは

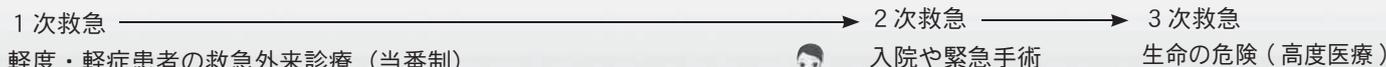
- 意識がない（もうろう）
- 呼吸・脈が不規則または停止している
- けいれんやひきつけがとまらない
- 多量の出血
- 激しい頭痛など
- 明らかに重症と思われるとき

また、同時に、外来診療の終了した深夜0時以降は、身体の不調などへの不安を少しでも解消できるよう、電話で医師や看護師に相談ができる「**ちとせ健康・医療相談ダイヤル24**」を開設しました。

千歳市民であれば24時間、通話料・相談料とも無料ですので、気になる身体症状などがあれば気軽に相談してください。

なお、**症状が重い（注2）**と思われるときは、119番で救急車を要請してください。

救急医療体制



曜日	科目	開始時間	終了時間	深夜0時以降
平日	内科系 外科系	17時	深夜0時	ちとせ健康・医療相談ダイヤル24 フリーダイヤル 24時間 無休でここに ☎0120(24)6922 (通話料無料、携帯電話から利用可) ※非通知設定の電話では利用できません。 ※IP電話からは☎03(3839)5604へ (通話料有料)
	小児科	18時	21時	
土曜日	内科系 外科系	12時	深夜0時	
日曜日・祝日 12/29～1/3	内科系 外科系	9時	深夜0時	

市内の大きな病院などへ



札幌の大学病院などへ搬送

